

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.0 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT Windows サーバ 8.0 を国内リリースする運びとなりました。
以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- ・ Reflection for Secure IT (RSIT) Windows サーバ 8.0

2. 注意事項のお知らせ

『RSIT Windows サーバ 8.0 Fix 版 (build 127) について』

- ・ 米国リリース“RSIT Windows サーバ 8.0 初期リリース版 (build 125)”には下記問題が内在します。
日本国内では“RSIT Windows サーバ 8.0 Fix 版 (build 127)”を今回国内リリース致しました。

【8.0 初期リリース版 (build 125) 問題内容】

「クラスター構成において、切替え後のサーバ機の SSH サービスが開始しない問題」

下記ファイル名称にてご確認ください。入手方法につきましては「5. 入手方法」を参照下さい。

		導入 OS	ファイル名称
○	8.0 Fix 版 (build 127)	64bit OS 用	rsitserverwin-8.0.127-wx64.exe
		32bit OS 用	rsitserverwin-8.0.127-w32.exe
×	8.0 初期リリース版 (build 125)	64bit OS 用	rsitserverwin-8.0.125-wx64.exe
		32bit OS 用	rsitserverwin-8.0.125-w32.exe

3. 変更内容

- ・ 従来の 7.2 SP1 Update1 から、下記機能追加と不具合対策を実施致しました。

3.1 新規機能/追加機能

- 1) 認証キャッシュ情報[ユーザ名, 最終アクセス時。(認証情報は除外)]を CSV 形式でエクスポート出来るようになりました。利用者のアクセス記録 等の利用参照が可能です。
- 2) 監査ログとしてファイル転送処理内容を有効化指定時に記録するようになりました。
- 3) デバッグログ保存先フォルダ付与のパーミッションとして“Administrators”, “SYSTEM” 以外のグループに対しても読み取り権限を付与出来るようになりました。
- 4) 認証用 X.509 証明書のデジタル署名に SHA256 が追加されました。
- 5) RSA 鍵ペアを使用した公開鍵認証処理に SHA256 が追加されました。
- 6) 改ざん検知用 MAC (Message Authentication Code) に“hmac-sha256”と“hmac-sha512”が追加されました。デフォルト設定では“hmac-sha256”が最優先候補になります。
- 7) scp1 (OpenSSH の独自実装 scp) 接続に対してもデバッグログ、Windows イベントログが記録出来るようになりました。
- 8) GUI 設定から RSA SecurID Agent ライブラリをフルパスで指定出来るようになりました。

3.2 不具合対策内容

- 1) 接続した SSH ターミナル内で更に先の SSH サーバにログインする入力ユーザ名の大文字/小文字を識別せずに送信する問題
- 2) UNIX クライアント発行のリモートコマンドパスに Shift_JIS 日本語を含むとエラーとなる問題
- 3) "Connect to accessible directories when accessed, instead of at login time" (=ログイン時ではなくアクセス時に接続) 指定時、UNC 表記 "SFTP accessible directories" にアクセス出来ない問題
- 4) OS シャットダウン時に、イベント ID 7034: "Attachmate Reflection for Secure IT Server サービスは予期せぬ原因により終了しました" のエラーログが記録される問題
- 5) ある個別スクリプトにより SFTP を自動実行させた時に、Windows システムエラーコード 122: "システムコールに渡されるデータ領域が小さすぎます" のエラーになる問題
- 6) [SFTP Accessible directories] 指定で "%u" を使用し、かつ "Use SFTP accessible directory settings for SCP1" を有効化した場合に、ファイル転送が失敗する問題
- 7) [SFTP Accessible directories] 指定で "%u" を使用し場合に、UNC 表記の "SFTP accessible directories" にアクセス出来ない問題
- 8) 同一ディレクトリへ同時多重 SFTP アクセス時に各種ログ出力プロセスが Windows の排他制御の制限を受け、結果的に Exit コード 9 で切断する問題
- 9) デフォルト変更の "User login directory" 内容を、上書きアップグレード時に引き継げない問題

3.3 セキュリティの更新

- 1) CVE-2012-0008: 「Visual Studio 2010 の脆弱性により特権が昇格される問題」 対応
- 2) CVE-2012-2110: 「OpenSSL の ASN.1 データ処理時のメモリー破損発生によりサービス拒否攻撃などを許してしまう脆弱性」 対応
- 3) CVE-2011-1280: 「Microsoft XML エディターの脆弱性により情報漏えいが起こる問題」 対応
- 4) CVE-2010-3190: 「Microsoft Foundation Classes (MFC) ライブラリの脆弱性によりリモートでコードが実行される問題」 対応

4. 対応プラットフォーム

- | | |
|---|--------------------------------------|
| a) Windows Server 2008 R2 (x86-64) | b) Windows Server 2008 (x86, x86-64) |
| c) Windows Server 2003, 2003 R2 (x86, x86-64) | d) Windows 7 (x86, x86-64) |

5. 入手方法

[A] ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様 :

- ・弊社登録「サポートご提供先」代表者の方に、入手方法をご案内申し上げます。

現在「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトには、「8.0 初期リリース版 (build 125)」が公開されたままとなっていますのでご注意ください。

[B] シングルパッケージ購入のお客様 :

- ・7.2 以前のバージョンをご使用で、バージョン 8.0 へのアップグレードをご希望のお客様は、下記メールアドレスまでご連絡下さい。有償にてバージョンアップを承ります。

j-info@attachmate.com

以上